

ケア研通信

名寄市立大学は、コミュニティケアに関する知的基盤の創出と拡充のための研究や先駆的实践活動、地域社会の教育的活用と大学の人的・知的資源を活用したケア専門職の継続教育を推進しています。

コミュニティケア教育研究センターとは

名寄市立大学の理念の一つである社会連携・社会貢献の基盤を整備・充実するとともに、教育—実践—研究の橋渡しにより本学の教育研究活動のさらなる充実を支える組織です。

研究

北海道の紫さつまいも

コミュニティケア教育研究センターの課題研究として実施している「紫さつまいもの生育環境が色素量に及ぼす影響」（研究代表者：栄養学科加藤淳教授）の調査では、九州で品種改良された紫芋が、北海道で栽培されたとき、収量や色素の発現量がどのようにな



るのかを調べています。色素原料を生産する企業がある留萌管内遠別町と、北海道でのさつまいもの栽培技術開発を行っている道南農業試験場（北斗市）や花・野菜技術センター（滝川市）で栽培された紫芋を比較して、寒いことでより色が濃くなるアントシアニン色素が、どのようになるかを調査しています。沖縄県のイメージがある紫芋が、北海道の特産品になる日が来るかも知れません。

ボランティアや地域交流イベントの情報提供はこちらへお願いします。
まずはお問い合わせください！

TEL 01654-8-7661 FAX 01654-2-0070

Email tiiki@nayoro.ac.jp



地域交流

「災害ワークショップ」

1月22日、ボランティア講座の一環として「災害ワークショップ」を開催しました。5月に開催した子どもの支援に関する学習会に続き、今回も学生による企画です。1年社会福祉学科富山浩恵さん、後藤あずささんが計画から当日の運営まで行いました。



12名が参加し、前半は岩手県出身の富山さんがスケッチブックに手描きした地図を見せながら東日本大震災での被災体験を話してくれました。後半は、2つのグループに分かれて、災害体験や災害へのイメージ、実際に今災害が起きたときに不安なことなどを話し合い、参加者全員で「災害」について考えました。

「東風連町内会冬の室内運動会」

2月14日、東風連町内会の皆さんと冬の室内運動会を行いました。今年は、「楽体（らくだ）」を使ったストレッチの後、ポッチャを楽しみました。



名寄市立大学コミュニティケア教育研究センター
〒096-8641 北海道名寄市西4条北8丁目1
TEL 01654-8-7661 FAX 01654-2-0070
Email community@nayoro.ac.jp URL https://nayoro.ac.jp

ホームページは
こちらから→



https://nayoro.ac.jp
https://nayoro.ac.jp
https://nayoro.ac.jp